

「税金について考える」 そのきっかけを生徒の皆さんに!!



令和6年度 租税教室のご案内

「租税教室」とは、次代を担う生徒の皆さんが、国や地方公共団体の財政を支える税の意義・役割を正しく理解し、税を通じて社会の在り方について考えることを目的とした税の出前授業です。

租税教育推進協議会から講師を派遣し、授業の内容については先生方と打合せを行い、ご要望にお応えするようにしています。

租税教育推進協議会は、教育委員会や小学校・中学校・高等学校などの教育関係者と、国・県・市町村の税務・財務関係者及び関係民間団体等が協力して、租税教育の推進を図るために設けられた組織です。

Q1 講師は誰が？

税務署、県、市町村の職員、税理士、関係民間団体の役員などが、講師を務めます。

専門家ならではの視点で、生徒の皆さんの疑問などにもお答えします。

Q2 授業の内容は？

「税の意義と役割」「税の使いみち」「税金の種類と仕組み」「国の財政の現状」など、授業内容は、先生のご要望に応じます。

Q3 授業の時期は？

ご相談に応じます。授業で税金のことを学ぶ前や学んだ後、卒業前でも構いません。税に関する作品の募集の時期に合わせて開催することもできます。

Q4 費用はいくら？

費用は一切かかりません。

アクティブラーニングを取り入れた租税教室の様子は、右記QRコードからご覧ください。【YouTubeサイト(国税庁動画チャンネル)へ移動します】

